

小野田・楠企業団地へ進出 市と藤井商会が協定を締結

SCENE 1



株 式会社藤井商会が小野田・楠企業団地における新事業所の建設を決定し、1月26日、市役所で協定調印式が行われました。同社は昭和25年に石炭の卸売を主として創業し、現在は包装資材であるフレキシブルコンテナバッグの製造・卸売を主力に事業を行っています。調印式は高林謙行県企業立地統括監の立会いのもと行われ、藤田剛二市長は「新事業所建設を期に更なる発展を期待している」とあいさつ。藤井一郎代表取締役は「将来的に本社の移転も視野に入れ、企業団地を有効活用したい」と抱負を述べました。

■株式会社藤井商会
 〈本 社〉高栄二丁目1番14号
 〈代表者〉代表取締役 藤井 一郎

SCENE 2

人命と文化財を守る 文化財防火訓練

1 月21日、文化財防火デーを前に、火災から人命と文化財を守るための訓練として、歴史民俗資料館で来館者の避難や文化財の搬出、消防車での放水などを実施しました。小野田小学校3年生も訓練に参加し、館内から安全にすばやく落ち着いて避難する方法を学びました。



SCENE 3

公民館だより「ありほ」 県公民館報コンクール優秀賞受賞

有 帆公民館が発行する公民館だより「ありほ」が、令和3年度山口県公民館報コンクールで優秀賞を受賞し、1月24日、市役所で受賞報告会が行われました。広報委員を務めた安藤一さんは「公民館だよりを読んで、公民館を訪れてもらうきっかけになればと心がけて作った」と喜びを語りました。